

令和3年度 福井県立図書館運営基本方針

県立図書館においては、福井県教育振興基本計画（令和2～6年度）および第3次福井県子どもの読書活動推進計画等を踏まえ、県民ニーズに迅速かつ的確に対応し、県民の仕事や生活、また地域の課題解決を支援する「地域と県民の役に立つ図書館」となるために以下の活動を進めます。

1 情報の提供

県民の情報拠点として、資料の収集・保存およびインターネットによる情報提供などを進めます。

(1) 資料収集

- ・資料収集方針を見直すとともに、ビジネスや医療・健康に関する資料などの収集に努め、地域や県民の課題解決を支援します。
- ・福井県に関する資料および県内出版物を網羅的に収集し、ふるさと情報の拠点としての役割を強化します。

(2) レファレンスの充実

- ・福井県に関する情報のテーマ別の調べ方や、仕事や生活など身近な課題の解決に役立つ情報の調べ方案内を作成し、レファレンスサービスを充実します。
- ・文献・情報の探し方講座や図書館サービスの使い方講座などを開催し、県民の情報リテラシーの向上を支援します。
- ・ビジネスに役立つオンラインデータベースの提供とともに、ニーズの高い新規コンテンツの導入を検討します。

(3) 資料デジタル化の推進

- ・県立図書館だけが所蔵する福井県に関する資料のデジタル化と情報発信を進めます。

2 他機関との連携

県内外の公共図書館や専門機関との連携を強化し、図書館サービスの充実を図ります。

(1) 図書館ネットワークの強化、拡大

- ・資料提供やレファレンス協力、業務相談、情報提供など、県内市町立図書館の活動を支援します。
- ・国立国会図書館や都道府県図書館、県内大学図書館、視覚障害者情報総合ネットワーク会員施設とも連携を図りながら、幅広い資料の提供を行います。

- ・県下で残すべき資料を県立図書館で保存するリポジトリ機能について検討します。

(2) 専門機関との連携企画の実施

- ・ふくい産業支援センター、県看護協会、法テラス福井などと連携し、ビジネス、医療健康、法律等に関する相談会や本の特集展示を行います。
- ・県や市町などの行政機関、文化施設と連携し、地域の課題解決に役立つ資料の特集展示を行います。

(3) 図書館司書、ボランティア等の育成

- ・県内図書館の司書、読書ボランティア等を対象とした各種研修の実施などを通し、関係する人材のスキルアップを図ります。

3 生涯学習活動の支援

人生百年時代を迎え、県民一人一人が充実した生活を送ることができるよう、学びと交流を支援します。

(1) 文書館、ふるさと文学館との連携

- ・統一テーマのもとに図書館、文書館、ふるさと文学館がそれぞれの特徴を生かしながら協力し、より魅力的な展示やイベント等を実施します。
- ・図書館、文書館、ふるさと文学館の機能、設備等を活用したイベントを実施します。

(2) 子どもの読書活動の推進

- ・図書館での仕事体験などを通して、周りの子どもたちに読書の楽しさなどを伝えるジュニア司書の養成に取り組みます。
- ・本との新たな出会いづくりとして、推奨図書コーナーの充実や新しい生活様式に配慮した読み聞かせ等の活動を行います。
- ・ふるさとへの誇り、愛着心を育むため、県立学校等において郷土資料の調べ方講座を行います。

(3) 県民の生涯学習支援

- ・図書館ボランティア活動など、県民が生き生きと学び活動できる機会を提供します。
- ・新型コロナ対策に配慮しつつ、イベントや各種活動の発表などの場として庭園も含めた施設の活用を進めます。
- ・「白川文字学の室」を中心に白川文字学に関するテーマ展示やワークショップを行い、幅広い世代が白川文字学について学ぶ場を提供します。
- ・図書館、文書館、ふるさと文学館が行うイベントやサービスについて、SNSの活用などにより効果的な情報提供に努めます。